

ノロウイルス対策～嘔吐物の処理について～

感染制御部

今年も冬に向かってノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生事例が多く報告され、時には大規模な集団発生の事例も報じられています。ノロウイルスによる胃腸炎は強い感染力と複雑多岐にわたる感染経路を特徴としており、特に高齢者や乳幼児、合併症のある方が感染した場合は重症化する恐れがあります。




ノロウイルスの感染経路は汚染した食品を介して起こるものや、汚染された手指や環境を介してヒト-ヒト感染を起こすため、院内感染としても重要なウイルスです。

嘔吐物を処理する際には、嘔吐物が手に付き口に入ることで感染する場合と、嘔吐物の飛沫を吸い込むことによって感染する場合があります。


今回は、嘔吐物を処理する場合の注意点を解説します。

準備する物

- ◇ 防護用具
 - ・手袋 
 - ・マスク
 - ・プラスチックエプロン
- ◇ ビニール袋 2枚
- ◇ 使い捨てガーゼ (ネオガーゼなど)
- ◇ 0.1%次亜塩素酸ナトリウムを浸漬した使い捨てガーゼ



- ①防護用具 (手袋・エプロン・マスク) を装着する。

 マスクはしっかり鼻と口を覆う。

②使い捨てのガーゼなどで嘔吐物を外側から内側に向けて拭き取る。一度拭いた面は汚染しているので拡げないように注意する。



③拭いたガーゼはビニール袋に入れる。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムを浸漬させたガーゼ



④0.1%次亜塩素酸ナトリウムを浸漬したガーゼで嘔吐物があった場所を清拭消毒する。



⑤使用したガーゼはビニール袋に入れ封をする。可燃性感染性廃棄物として廃棄する。

⑥防護用具は正しく外しビニール袋に入れ封をする。可燃性感染性廃棄物として廃棄する。



⑦石鹼と流水で手指をよく洗う。

ノロウイルスはアルコールに抵抗性のため、嘔吐物の処理をした場合は、石鹼と流水による手洗いを十分に行いましょう。特に食事の前、トイレの後、排泄介助の後、嘔吐物の処理の後には石鹼と流水での手洗いを行ってください。

手洗いは感染対策の基本です。自分を守るためにも、周囲の皆さんを守るためにも、日頃から手洗いを習慣づけましょう。